

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団 令和元年度歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：「サポートファイル」を使用した摂食嚥下指導	
2. 申請者名：一般社団法人 市川市歯科医師会 会長 石井 広志	
3. 実施組織：一般社団法人 市川市歯科医師会	
4. 事業の概要	当会では数年前より特別支援学校および障害者施設で摂食指導をおこなってきた。その結果、指導の必要性、重要性を再認識し、家族、学校、施設を通じて指導していく必要があると感じた。そこで我々は市川市が障害者に対して発行している「ライフサポートファイル」に注目し、障害者の摂食指導にあたりたいと考えた。「ライフサポートファイル」は障害者手帳取得時から記入することにより障害者本人の誕生から今までの病歴や生活がわかる事を目的とした支援計画書をまとめたものである。
5. 事業の内容	<ul style="list-style-type: none">① サポートファイルの作成② 特別支援学校、障害者施設での摂食指導および講習会の開催③ 歯科医師および関係者への講習会の開催④ 家族・関係者との連携を図るための協議会の開催
6. 実施後の評価（今後の課題）	<ul style="list-style-type: none">① サポートファイルの作成 市川市では市内の障がいを持っている方に「市川市ライフサポートファイル」を発行している。このファイルは、特別な支援や配慮を必要とするお子さんが、乳幼児期から成人期までのライフステージで、途切れることなく一貫した支援を受けられるように成育歴や受けてきた支援内容などを記録し、情報共有できるファイルである。当会では「摂食嚥下サポートファイル」を作成し摂食指導を記録できるようにした。また同時に希望の多かった「歯科受診サポートファイル」を作成した。② 特別支援学校、障害者施設での摂食指導および講習会の開催 特別支援学校では給食時に実際の指導を行なった。学校だけでは十分にできない部分をかかりつけ歯科でフォローする事で大きな成果を得た。障害者施設では日大松戸歯学部遠藤講師に指導を依頼して大きな成果を得る事ができた。③ 歯科医師および関係者への講習会の開催 今年度も多くの講習会を歯科医師会関係者・障害者関連団体・市民に向けて行なった。摂食嚥下に止まる事なく、誤嚥性肺炎などの高齢者向けの話題を入れる事で多くの方にご参加いただいた。特に実習の講習会は参加者からも好評で、よい動機付けになった。④ 家族、関係者との連携を図るための協議会の開催 今年度は地元の医師会などと協力して、以前から行なっている「口腔ケアネットワーク会議」でも摂食嚥下の話題を多く取り上げてきた。みなさんそれぞれの立場で興味があり、関心の深さがうかがえた。3回目のネットワーク会議と障害者歯科連絡協議会がコロナウイルスの感染拡大で中止になった事が何より残念であった。